

小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ：“イマジン ロータリー”

RI会 長：ジェニファー・ジョーンズ 氏
(所属：カナダ/ウィンザー・ローズランド RC)

地区テーマ：“ロータリー、継続活動と変化”

地区ガバナー：西島 英利 氏(所属：小倉南 RC)

クラブテーマ：“エターナル ロータリー”

会長 坪根 悟郎 / 幹事 高山 定典



表紙写真(大阪ミナミのランドマーク)

戎橋アーケード街と心斎橋アーケード街とをつなぐ戎橋横のグリコのネオンは、ランドマークになっています。橋の上からは上手く撮れません。

【写真撮影：辰巳 和正 会員／大阪にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野 2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉 2F

TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：竹中 休義

副委員長：藤澤 修司

委員：合馬 誠一、田中 幸一郎、雲田 昭慶、傍示 文昭、西東 大、伊藤 泰

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3534回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “2700のマーチ”
- ・善行生徒表彰
- ・年次総会(次年度役員・理事選任)

第3533回 例会 記録

11月25日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・卓話

(株) HarmoniK 代表取締役
黒瀬 暢子 氏

会長の時間

坪根 悟郎 会長

日本がドイツに勝ちましたね。サッカーにあまり興味の無い私でも、世界戦での日本の勝利には興奮します。残念ながら前半が終わって負けていたので寝てしまいましたが、日曜のコスタリカ戦は最後まで観戦します。

幹事報告

高山 幹事

・メールでお知らせしましたとおり、来年1月20日(金)の例会は翌21日(土)に変更し、第2700地区第2グループのIMに参加いたします。IMはインターシティ・ミーテ

ィングの略で、近隣都市の複数のクラブが、会員相互の親睦と知識を高めることを目的として実施する会ですが、従来から、年に一回、第2グループ、11のクラブの会員が一堂に会しております。なお、懇親会は3名までとなっていますので、皆さまへはご案内しておりません。締切は12月5日です。例会ですので、ぜひ多くの皆様ご参加くださるようお願いいたします。

出席報告

中村 委員長

2022年7月1日：68名でスタート

	会員数	出席者数	マークアップ	出席率
当日の出席	72名	49名	—	80.33%
先週の出席	71名	38名	26名	93.44% 修正後

◆ゲスト 1名

- ・黒瀬 暢子 氏(卓話者)

◆ビジター 3名

- ・牛島 直文 氏(門司 RC)
- ・矢野 聖子 氏(戸畑 RC)
- ・三角 桂子 氏(戸畑 RC)

◆名誉会員 1名

- ・中村 雄三 氏

新名譽会員の紹介

なかむら ゆうぞう
中村 雄三 氏

職業 陸上自衛隊第40普通科
連隊長
兼小倉駐屯地司令

日頃から自衛隊や駐屯地の活動にご理解いただきありがとうございます。推薦を頂き、2020年度から入会させて頂いたところではありますが、自衛隊では会合への参加は厳しく、参加できずにいました。コロナの状況により、今月から参加させて頂きます。この機会に、職業奉仕を新たに学び直したいと思っていますので、ご指導よろしくお願い致します。



新会員紹介

やまね えいこ
山根 映子 氏

推薦者 坪根 悟郎 会員
森 結実子 会員

職業 (株)グリーンテック
代表取締役

職業区分 441 一般貨物自動車
運送事業

チューター 杉 巖 会員

委員会 親睦活動

私は、父の代から創業しました運輸会社、損保会社、引越会社、保険代理会社それらの管理業務をしている会社の経営をしています。北九州市内と福岡市内で営業しており、全従業員を合わせて160人ほどの小さな会社ですが、創業から今年で50周年を迎えることができました。この厳しい社会情勢の中で、これまで続けて来られたことに感謝しています。このような節目の年に、この伝統のある小倉RCに入会させて頂きましたことに感謝しています。RCの理念である奉仕や社会貢献などに、微力ではございますが、自分のできる限り尽力して参りたいと思います。皆様これから末永く、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



委員会報告

IM参加のお願い

13時から17時半まで、リバーウォーク内にあります北九州芸術劇場の中劇場にて開催されます。テーマは「これからのロータリー活動と会員拡大」です。第1部は灘谷パストガバナーの公演、第2部、第3部はテーマごと



戸畑 RC 矢野 聖子 氏

戸畑 RC 三角 桂子 氏

に分かれ、各クラブのパネリストにご登壇いただき、パネルディスカッションを行います。戸畑RCの会員が現在20名で、戸畑だけでは運営が行き届きませんので、戸畑東RCにもご協力をいただいています。IM後の懇親会は、会場近くのリーセントホテルに場所を移し、コロナ禍ですので各クラブ3名までとさせていただきます。開催いたします。コロナの状況次第では中止となる場合もありますのでご了承ください。予算の都合上、慣例として全員登録をお願いしていますが、登録だけでなく、参加をお待ちしています。

ニコニコ献金

棟安 副SAA

22,400円 : 累計金額 183,968円

牛島 直文 様(門司)

音楽企画Graizeを宜しくお願いします。

矢野 聖子 様、三角 桂子 様(戸畑)

本日は、2023年1月21日に開催するIMのご案内にお伺いしました。ご参加よろしくお願ひいたします。

高山 定典 君

途中退席します。ペコペコです。

辰巳 和正 君

①11月20日の博多ヨットクラブの机島時計回りレースは畠中さんと一緒に楽しみました。24チーム中の3着でした。

②大学時代のクラスメイト水山昭雄君が、『仏のころ』を出版しました。人生の道標となる素晴らしい内容です。

杉 巖 君

先週、例会と早朝清掃を欠席しましたのでペコペコです。

天ヶ瀬 洋正 君

①門司RCの牛島直文会員、ようこそ小倉RCへ！例会を楽しんで下さい。

②黒瀬暢子さん、『焼酎のお話』ありがとうございます。私は日本酒党ですが、今日から焼酎党に変わるかも？

松本 篤 君

木曜日午前10時45分すぎ、クロスFMをかけながら車で移動中でした。その際、突然車内に流れだしたのは、甲木SAAからの、さわやかで聴いて心地よい語りかけでした。ご存知の方も多いと思いますが、西日本新聞社プレゼンツの“ファンファン北九州”です。甲木さんの軽快なナビゲートで、あっという間の10分間でした。アプリでアーカイブも配信されており、10月にはグエン・ヴァン・ズイ君も出演しています。彼の将来の夢などを甲木さんが上手にひきだしていますので、聞き逃した方はぜひご視聴ください。そして甲木さん、これからも楽しみに応援しています。

豊川 智彰 君

昨日は楽しかったです。わずかですが、残金が出ましたのでニコニコいたします。

大川 雅弘 君

11/19 (土) 西日本新聞社さま主催のゴルフコンペに参加させていただきました。「運」と「メンバー」に恵まれ、大まぐれで優勝させていただきました。お招きいただいた甲木会員、ありがとうございました！！

上野 禮一 君

私のルーツにたどる調査をしていたら、祖父が愛知県の副知事をやっていたことが判明。任命者が桂太郎総理でした。今年は祖母没後 100 年になります。

森 結実子 君

山根映子さんが入会下さいましたのでニコニコです。

卓 話

(株) HarmoniK 代表取締役

黒瀬 暢子 氏

『焼酎と歴史のおいしい関係』



焼酎プロデューサーって何？

「焼酎プロデューサー」と聞いて何を思い浮かべますか？ 大酒呑みですか？ お酒を造る人ですか？ 「焼酎プロデューサー」と名乗りながら実は、4 年前まで 1 滴も焼酎を呑んだことがありませんでした。前職では海外

でモノづくりの仕事を経験し、日本人の職人文化のすばらしさを痛感。何らかの形で後世に残したいと思っていた矢先に、ひょんなことから、焼酎の歴史を作ってきた焼酎造りのプロフェッショナル集団「黒瀬杜氏」の末裔であることを知ります。焼酎文化を後世に残すことに強い使命感を感じ、安定した職も捨て、焼酎のファンを増やすという意味の「焼酎プロデューサー」として活動を始めました。

焼酎は、どこから来て、どう日本に広がったのか？

今回は、「歴史」という切り口で焼酎の文化について触れていきたいと思います。焼酎は、ユーラシア大陸で生まれた蒸留酒から派生したのですが、蒸留酒がどうして生まれたのか、どうやって日本で焼酎が発展していったのか見ていきたいと思います。

まず、蒸留酒。現代に広く伝わっている蒸留酒の源流は中世アラビアのようです。8～10 世紀頃のイスラム錬金術師達が発明しますが、理由は、「不老不死願望」。当時のお金持ち(今もそう！?)は、ありとあらゆるものを手に入れても、「不老不死」だけは手に入れることができませんでした。神と繋がると思われていたワインなどの醸造酒からアルコール純度の高いお酒を取り出せば、不老不死につながると信じ、薬としても愛用され

るようになります。この技術は世界中に広まり、日本へ伝わったのは、15 世紀初頭の沖縄。交易が始まった当時のタイ王朝から、「ラオロン」という蒸留酒が献上されることから始まり、15 世紀の後半には、泡盛の原型のようなものがあつたと記録に残っています。16 世紀前半には、鹿児島に、琉球王朝から蒸留酒が贈られ、九州での焼酎造りも始まっていきます。

最初は米焼酎を造っていた鹿児島も、シラス台地で生産性の高いサツマイモの伝来により芋焼酎造りに移行し、今に至ります。麦焼酎造りは、15 世紀初頭に朝鮮半島から対馬を経由して壱岐に伝来しますが、本格的に生産が始まったのが、17 世紀。壱岐では、米も麦も生産されていましたが、麦でのお酒造りが広がっていきます。もともと、清酒文化圏であり、酒かす焼酎をつくっていた福岡、佐賀、大分も、戦後の米不足に伴い、麦焼酎を生産するようになり、今に至ります。

焼酎の造り手～黒瀬杜氏は、どうして誕生したのか

みなさん、焼酎が広がるには、造り手と飲み手が必要です。ここで私のご先祖様「黒瀬杜氏」についても触れさせてください。黒瀬杜氏は、明治 30 年代から活躍し、最盛期には 400 人(蔵子含め)と言われております。当時、お酒造りがビジネス化し、安定供給、大量生産が求められましたが、日本酒造りの麴を使っていたため、暖かい南九州では、お酒が腐りやすかったのです。そこで雑菌を抑えるクエン酸を出す黒麹を使い、仕込みも 2 回に分ける画期的な製法を生み出し、安定供給、大量生産化に成功します。黒瀬杜氏は、この技術をもって九州全県や離島はもちろん、北は関東まで焼酎造りを教えて回り、焼酎は日本に広まっていきます。

おわりに～世界へ挑戦する焼酎

世界から製法がやってきた焼酎は、今世界への挑戦を始めました。焼酎ベースのカクテル、クラフトジン、熟成焼酎など、世界へ広がってきています。最後に、焼酎って英語で何ていうかご存じですか？ ジャパニーズスピリッツ。つまり日本の精神です。不老不死を願って誕生した蒸留酒。残念ながら、その願いは叶いませんが、代々の杜氏さんたちが自分の子供のように大切に大切に作り上げた九州の精神である焼酎の文化は、どんなに AI が発展しても、人間が存在する限り生き続け、後世にバトンを渡していくのです。私もその命のバトンリレーにお役に立てたらと思い、焼酎の魅力を伝える活動を続けてまいります。



秋の日帰り旅行 報告

日 時：11月13日(日) 8時50分～

場 所：平成筑豊鉄道 ことこと列車

参加者：坪根、荒木、伊井、伊藤、伊与田、上野、
瓜生、合馬、傍示、甲木、加藤、雲田、
小島(庸)、城、杣、竹中、豊川、畠中、
原田(光)夫妻、増田家族、宮島、福永様

【行程】

11:32 ことこと列車乗車 直方駅出発

14:52 行橋着 解散

平成筑豊鉄道のレストラン列車、「ことこと列車」に乗って参りました。

①参加者の皆さんと会話しながら、②美味しいお食事と、③お酒を頂き、④さらに車窓から見える風光明媚な景色を楽しむ、という私が勝手に作った4つのテストを無事クリアすることができ、とても充実した旅となりました。



普段、車で通る地域の景色が列車の車窓からは全く違って見えたことは気づきを得たポイントでしたが、もし

かしたらワインの飲み過ぎが原因かもしれません。

大変な人気から、半年前の予約が必要とのことですので、興味がある方は 楽しいお仲間と来年のGW以降に計画をしてみ



てはいかがでしょうか。きっと、特別な旅になるはずです。

【報告者：伊藤】



ロータリー財団「小口寄付金」

例会当日寄付者

- ・竹中 休義
- ・田中幸一郎
- ・佐竹 信也
- ・甲木 正子

合計 2022～23 年度累計金額
22,000 円 133,000 円



米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

- ・竹中 休義
- ・八尋 重治

合計 2022～23 年度累計金額
20,000 円 527,000 円

次回例会予告

12月14日(水) 夜間例会

- ・ロータリーソング “我等の生業”
- ・年忘れ家族夜間例会 於：リーガトップ

